



グローバルCOEプログラム

境界研究の拠点形成：スラブ・ユーラシアと世界

2011年度・後期
道民カレッジ連携講座

土曜市民セミナー 共催



北海道大学総合博物館

北海道大学スラブ研究センター

中国プロパガンダ・ポスターの世界

武田 雅哉 (北海道大学 大学院文学研究科・教授)



中国は古代から、たいへん豊かな図像文化を発展させてきました。1949年、中華人民共和国という社会主義の国が誕生すると、ここでもまた新たな図像文化が生み出されます。為政者たちは、国民を教育する手段として、ポスターや連環画（劇画・漫画）というメディアを、たいへん重視しました。今回の講座では、それらの流れを概観しながら、図像をおもしろく読み解くための、「目玉」のレッスンをしてみましょう。

12.17(土) 13:30~

会場 北海道大学総合博物館 1階「知の交流」コーナー

*定員 60名。定員を超えますと立ち見となる場合がございます。



講演終了後は、
講師の武田氏と一緒に
展示を観覧してみましょう。

入場無料！
申込不要！

本セミナーに関するお問い合わせ先

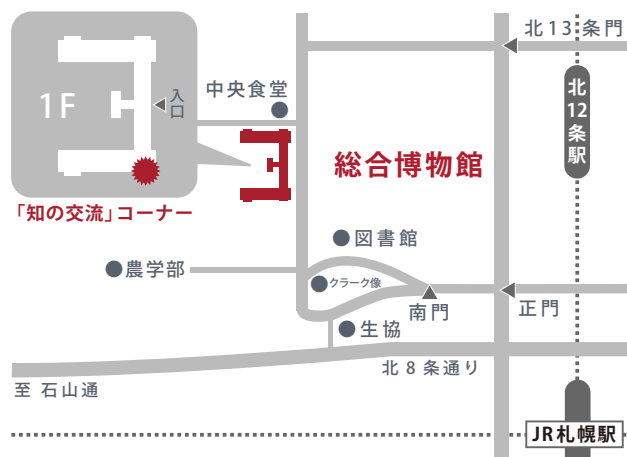


北海道大学スラブ研究センター「境界研究の拠点形成」事務局
TEL: 011-706-2380/4809 E-mail: gcoe-jimu@slav.hokudai.ac.jp
<http://borderstudies.jp>

北海道大学総合博物館



〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
TEL: 011-706-2658 <http://www.museum.hokudai.ac.jp/>



関連
展示

GCoe 第6期展示「越境するイメージメディアにうつる中国」展

第1部「中華人民共和国の誕生と成長、そして世界とのかかわり」2012年2月5日(日)まで

第2部「変貌する中国の女性像」2012年5月13日(日)まで

会場 | 第1部は北海道大学総合博物館3階企画展示室、第2部は2階 GCoe 展示ブースにて開催しております。